

照射処理されたグレー系アコヤ養殖真珠

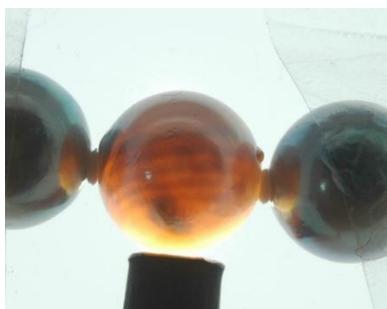


(写真1) Photo by Ikuo Atsumi

商業上「コバルト」あるいは「照射」や「染め」呼ばれている照射処理を施したグレー系アコヤ養殖真珠（写真1）がある。1960年頃から日本の真珠業界で一般的に行われるようになった。これはコバルト60を線源とする放射線を真珠に照射したものだ。照射すると核に含まれるマンガンが黒褐色化（写真2）することされている。黒褐色化した核が真珠層を通して透けて見えることから真珠をグレー系に見せる。この手法を用いると、染料による着色処理されたものとは異なった、より自然な色調を呈す。これらの看破法の一つに光透過法がある。真珠に強い光源を照射すると核の黒褐色化が縞目（写真3）として現れる。



(写真2) Photo by Ikuo Atsumi



(写真3) Photo by Ikuo Atsumi

文：渥美郁男